

インコの環境エンリッチメントに基づいた手帳型飼育ブックの制作



制作主体 人間空間デザインコース 須之内 元洋ゼミ

佐竹 穂乃佳 Honoka Satake (北見北斗高等学校出身)

ゆるく、楽しく、自分らしく過ごせた4年間でした。

1.はじめに

人間によって飼育されるセキセイインコの幸せとは何か。たとえ言葉を真似ることができるセキセイインコだとしても、人間のように言葉を交わして意思を伝え合うことは困難です。しかし、私たち人間がセキセイインコへの理解を深めることで、次第にセキセイインコも心を開いてくれるはずです。本研究では、セキセイインコの飼い主が日常的に手を動かしながら、自分の飼育しているセキセイインコについて理解を深められるような手帳型飼育ブックの制作を行いました。

2.研究背景と調査

日本においては、平安時代の貴族が小鳥を飼育していたことがセキセイインコの飼育文化の起源ですが、当初は観賞用として飼育されていました。現代では、セキセイインコと飼い主が互いにコミュニケーションをとり、家族同然の関係性を築いている様子もみられます。

一方、飼育下のセキセイインコは、野生環境にいたセキセイインコよりも食事に費やす時間が大幅に減少し、退屈な時間が生まれてしま

います。飼育下のセキセイインコの中には、噛みつきや毛抜きなどの問題行動が見られることもあり、これらは退屈な時間を埋めるための行為と考えられています。

動物園では、こうした問題行動を改善するために、野生環境に近い状態で飼育環境を整える「環境エンリッチメント」に取り組んでいます。本研究では、円山動物園に取材を行い、高齢モモイロインコへの環境エンリッチメントの実践例調査を行いました。取材では、モモイロインコが高齢であることを理解した上で「飼育スペースの植栽」、「他の動物の存在」、「与える餌の工夫」の3つに取り組んでいることが分かりました。

また、家庭で飼育されるセキセイインコに環境エンリッチメントの要素を取り入れるための、手作りおもちゃが注目されています。そこで、実際に手作りおもちゃの制作をしている「ペットショップ小泉」に取材を行いました。取材の中で印象的だったものとして、はしごのおもちゃがあります。そのおもちゃは、高齢の場合や運動が不得意なセキセイインコでも楽しめるように、足場の

間隔を狭めて作られていました。つまり、手作りおもちゃは、飼い主が自分のセキセイインコを理解した上で作ることができる唯一のオーダーメイド品なのです。

取材を経て、動物の個性により求められる仕掛けも異なるため、環境エンリッチメントに絶対的な正解はないことが分かりました。家庭で飼育されるセキセイインコに環境エンリッチメントを実践するには、飼育に関する知識に加え、飼い主自身がセキセイインコの個性を理解する気持ちが大切です。

3.制作物について

以上を踏まえ、「セキセイインコの飼育に関する基本的な知識の習得」と「飼育しているセキセイインコの個性の理解」の2点を軸に、情報ページとワークシートから構成された手帳型飼育ブッ

ク「我が家のインコダイアリー」を制作しました。情報ページは、Lesson1からLesson4の4つに分かれており、それぞれのレッスンでは、文献調査や取材を通して得られた情報や発見を、セキセイインコの飼育に役立つように工夫して編集し、紹介しています。また、カレンダーや塗り絵を要素として盛り込んだワークシートは、使用する飼い主が楽しみながら書き込むことができ、かつ見返しややすいデザインを目指したものとなっています。さらに、飼育ブックの冊子は飼い主が日常的にそばに置いておきたいようになるように、A5サイズの手帳型で制作し、使用状況に応じワークシートの補充ができることを想定しました。

今後は商品化を目指すと共に、作品がセキセイインコとその飼い主の幸せを考えるための第1歩として役に立つことを心から願っています。

